

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の実施状況（通常分）

	交付対象事業の名称	事業の概要（計画） ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠 ④事業の対象者	総事業費	交付金充当額	実施状況	成果及び効果	担当課	備考
1	防災活動避難所支援事業	<p>①屋外避難所における新型コロナウイルス感染症対策として、感染者等と健常者の避難スペースを明確に分けることを目的に、ポータブル発電機、投光器、簡易トイレ、テント及びこれらを収納するコンテナを配置する。また簡易トイレについては、非接触型の使い捨て処理袋を導入し、菌の飛散を防ぐ。</p> <p>②③ポータブル発電機105,600円×14台=1,478,400円、LED投光器27,500円×14台=385,000円、ベンリープラトイレ7,920円×28=221,760円、簡易トイレ消臭袋（100回分）7,590円×14束=106,260円、プライバシーワンタッチテント5,830円×28個=163,240円、イージーアップテント169,400円×14脚=2,371,600円、コンテナ231,000円×13台=3,003,000円、運送費134,200円×13台=1,744,600円、レッカー費110,000円、玉掛作業費</p>	10,298,860	10,298,860	R4.7.5～R4.12.26 村内各避難所に備品を配備	避難所における密を回避させることができた。 避難所でのクラスター発生件数0	総務課	完了

2	R4年度宇検村景勝地体験支援事業	<p>①R3年度本事業において導入したEバイクとスタンドアップパドルボードを活用し、世界自然遺産の地におけるコロナ禍に対応した新たな体験観光スタイルの構築、コロナ対策のために村民が強いられる精神的負担の軽減と村民自らが村の優れた環境を再発見できる機会を設けることを目的に、村民を対象とした景勝地体験ツアーを実施する。</p> <p>見込める効果として、実証ツアーにより体験者の意見を聴取し、対観光客等へのツアーへフィードバックすることで洗練されたツアーを造成。実際に村民が体験のために外出をすることでコロナ禍対策により負うストレス軽減に繋がる。</p> <p>②実証ツアーに係る備品（ナイトツアー用照明、雨天時用レインウェア、インターコム、ウェットスーツ、sup本体、スノーケリングセット、レスキューセット）</p>	2,792,350	2,792,350	<p>村民を対象とした景勝地体験ツアーを令和4年8月16日から同12月31日の期間において実施。</p>	<p>宇検村民向け電動バイク及びスタンドアップパドルボード体験事業により19名の参加があった。それぞれの体験者からフィードバックをいただき、体験実施にあたっての安全管理体制等の改善点を確認できた。また、外出してアクティビティを楽しむきっかけとなりコロナ禍により閉塞的であった休日の家族の活動範囲がコロナ禍以前のように感染に注意しつつ広げても問題ないのではとの意見が多かった。新たな体験ツアーやインパウンド向けツアー等の体制構築に係る機関と協力して実施するモニターツアーでも当該備品を活用しており、今後の事業展開における質の向上にむけた成果を得ることができた。課題としては、これら備品を活用したツアー展開の可能性について、地元住民の認識が低水準にあることが確認できた。</p>	企画観光課	完了
---	------------------	--	-----------	-----------	--	---	-------	----

<p>5 水際対策事業</p>	<p>①空港・港において到着者へ検温を行う。 ②業務委託費 ③県及び奄美群島5市町村において、コロナウイルス感染症拡大防止のため、奄美空港・名瀬港においてサーモグラフィーによる検温検査を行っている。 負担割合として鹿児島県が50%を負担し、残りの50%を5市町村で負担し均等割り・人口割りで負担額を算出している。 宇検村の負担割合は、空港・港において4.84%となっており、空港が286,218円、港が127,456円で、年4回の支払いとなり、計1,654≒1,700千円 ④来島者・奄美空港・名瀬港</p>	<p>1,529,940</p>	<p>1,529,940</p>	<p>◎奄美空港における水際対策費用負担 ◎名瀬港における水際対策費用対策 ◎新聞広告料</p>	<p>名瀬港・奄美空港の到着口付近にサーモグラフィーを設置し、到着者全員に対して簡易体温測定を行い基準値以上の体温のある方に対して非接触型体温計による体温測定及び連絡先の聞き取り調査を行ったことにより注意喚起が行えた。</p>	<p>保健福祉課</p>	<p>完了</p>
-----------------	---	------------------	------------------	--	---	--------------	-----------

6	統合型校務支援システム導入事業	<p>①コロナ過の教育現場は感染症予防対策、新しい生活様式等の対応により教職員の業務量が増えている。システムを導入することで、教職員の事務処理に要する時間短縮及び効率化が図られ、新型コロナウイルス感染症予防対策や児童生徒と向き合う時間ができ、教育の質の向上が期待できる。</p> <p>②校務支援システム及び校務共有システム導入に係る経費。</p> <p>③村内小中学校の校務系サーバセンター（役場内）に導入。 校務支援システム 6,335千円 校務共有システム 4,209千円 諸経費 2,710千円（サーバー及びPC設定費用） 委託費合計 13,254千円</p> <p>④村内小中学校に勤務する教職員端末。</p>	15,400,000	15,400,000	<p>コロナ過での教職員の業務効率化を図るため統合型校務支援システムを導入し、教育環境の充実を図った。</p>	<p>これまで通常の業務に加えて感染症予防対策の対応に時間が掛かっていたが、校務支援システム導入に伴い事務処理の効率化が図られ、児童生徒と向き合う時間が作れた。</p>	教育委員会	完了
---	-----------------	--	------------	------------	---	--	-------	----

9	六次産業対策支援事業	<p>①新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、在庫の滞留、価格の低下、売上の減少する農林産物に新たな需要の掘り起こしを目的とし、従来の加熱調理や乾燥を施した加工品と真空低温調理など素材活かした6製品の生産環境を村の有する農林産物加工施設に整備。施設利用が想定される村内3生産団体を中心に利用協議会し、情報・技術を関係機関が支援（県、保健所等）、WEB講習会（メーカー支援）等による感染対策を図りながら地域の農林水産物の利用促進をコロナ後に加速することを目指す。</p> <p>②③</p> <p>スチコン 2,163千円 急速冷蔵機 2,257千円 真空包装機 1,064千円</p> <p>④村内事業者</p>	4,169,000	4,169,000	スチコンパクション オーブン 急速冷蔵機 真空包装機 を設置	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、大きな影響を受けている村内生産団体を中心に保健所等の情報支援を受けながら感染対策を図り、施設の効率的な利用調整を行い地域内の農林産物利用の促進が図られた。	産業振興課	完了
11	防災ラジオ普及事業	<p>①防災行政無線を自動受信できる防災ラジオを整備することで、新型コロナウイルス感染症関連の情報を村民へ即座に周知し、感染拡大防止を図る。またコミュニティFMと連携し、ワクチン接種や予防法について呼びかけを行うことで、村民の感染予防意識の啓発を行う。</p> <p>②防災ラジオ購入経費 13,970円×300台=4,191,000円 （うち900千円は受益者負担）</p> <p>④村民のうち希望世帯300世帯</p>	4,191,000	4,191,000	R4.6.10～ R5.1.18 ラジオ300台購入・ 配布	自動受信防災ラジオの導入により、新型コロナ対策情報を村民へいち早く提供し、感染予防意識の啓発を行うことができた。	総務課	完了

12	宇検村地域コミュニティ総活躍支援事業	<p>①新型コロナウイルスの影響で、集落行事も村の行事もほとんど中止になり、各集落の自治会や青年団，婦人会，老人会などの収入がなく、活動資金はほぼゼロになった。寄付の一部が村外の出身からという現状を考えると、集落間，市町村間の交流もままならない中では、今後の集落行事への影響も必至である。そこで集落総ぐるみでこのコロナの影響を乗り越えコミュニティを維持していくために、集落の活動資金の一部を支援する。また、地域コミュニティが衰退する中少人数の任意団体で取り組む地域の課題の解決や地域の活性化に向けて取り組む事業を支援する。</p> <p>②③集落支援金300,000円×対象団体14集落=4,200,000円</p> <p>②③各種団体支援金上限100,000円×10団体=1,000,000円</p> <p>④宇検村内14集落</p>	4,607,970	4,607,970	R4.9.20～R4.11.4 村内14集落に支援金を支給。	集落及び各種団体の存続率100% 主催する行事でのクラスター発生件数0	総務課 企画観光課	完了
----	--------------------	--	-----------	-----------	-----------------------------------	--	--------------	----

13	宇検村貸切バス支援事業	<p>①新型コロナウイルス感染症の影響により利用者が減少している貸切バスの利用促進のため、宇検村民を対象に貸切バスの援助を行う。</p> <p>②③貸切バスの運賃の8割を補助（上限10万円） 100,000円×20団体=2,000,000円</p> <p>④宇検村在住の貸切バス利用団体</p>	154,696	154,696	<p>島内貸切バス事業者3者と協定を締結し、本事業を実施した。各種放送媒体とチラシの配布により住民へ周知を行った。</p>	<p>村内の3団体から申請があった。計画では20団体の利用を見込み予算措置をしていたが申請者数が伸びなかった。申請のあった3者の内、2団体は同じ自治会の所属であり、利用の目的は村内外の観光地巡り、内1団体は本村生活研究グループ連絡協議会の会員による先進地視察が目的であった。本事業は、昨年度より継続して実施したが若者の利用が全くなかったため、一部の若者へ口頭によるヒアリングを実施したところ、利用する意向はあったが、コロナ禍収束が見えてきた真下、前年度まで中止になっていた行事が再開となり日程調整が厳しかったという声が多かった。</p>	企画観光課	完了
14	行政事務デジタル化推進事業	<p>①新型コロナウイルス感染症対策として庁内でタブレットを導入し、各種会議をオンラインで実施することで、密になるリスクを回避する。またテレワークやペーパーレス化の推進を図る。</p> <p>②③タブレット、ペン、キーボード購入費 204,800円×21台=4,300,800円</p> <p>④庁内職員（共有使用）</p>	3,077,800	2,966,368	<p>R4.11.18～R5.3.16 タブレット導入。</p>	<p>タブレットの導入により、庁内会議をwebで実施。密を防ぎ、クラスター発生件数0を達成。</p>	総務課	完了

15	時短要請協力金給付事業負担金	<p>①新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、県の要請に応じ、営業時間の短縮に協力した事業者に対して、協力金を支給する。</p> <p>②県への負担金</p> <p>③④村内事業者（法人1、個人5）に対し事業規模に応じて支給 積算根拠は県中小企業支援課作成資料による。</p>	805,000	805,000	<p>R4.1.11～1.24 R4.1.25～1.26 R4.1.27～2.20 R4.2.21～3.6 時短要請期間 5事業者申請</p>	<p>村内事業所内でのクラスター発生件数0であり、新型コロナ感染症拡大防止につながった。</p>	産業振興課	完了
18	令和4年度宇検村プレミアム商品券事業 (R3予算分)	<p>①プレミアム商品券を発行する宇検村商工会に対し補助金を交付し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた事業者や、コロナ禍における物価高騰等の影響を受けた生活者の購買行動を促進し、経済回復を図る。</p> <p>②プレミアム経費、事務経費</p> <p>③1冊7,500円相当（500円×15枚）の商品券を5,000円で8,800冊販売。</p> <p>イ 商品券販売額8,800冊×5,000円＝44,000,000円</p> <p>ロ プレミアム経費8,800冊×2,500円＝22,000,000円</p> <p>ハ 事務経費 2,530,000円 （事務経費内訳） ・商品券印刷代 900,000円 ・販売換金事務手数料 800,000円 ・賃金（1名×5,950円×72日） 428,400円</p>	5,921,000	5,921,000	<p>R4.8.1～R5.1.31 商品券販売・使用期間</p>	<p>新型コロナウイルス感染症拡大や物価高騰等に伴い、大きな影響を受けている村経済を活性化させるため、村内で使える商品券を発行することにより、村内消費促進が図られ、事業継続・維持の一助となった。 事業者倒産件数0</p>	産業振興課	完了

19	新型コロナウイルス感染症拡大時 検査対応等支援事業	<p>①新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、村内唯一の医療機関である診療所での受診が困難な住民に対し、訪問看護を行うことにより、安心して住み慣れた地域で暮らすことができる。</p> <p>②訪問車両代、消耗品費</p> <p>③3,700,000円×2台=7,400,000円 フェイスシールド150円×1,000枚=165,000円 消毒液50,000円 ガウン100,000円</p> <p>④診療所</p>	6,805,712	6,805,712	<p>◎訪問用公用車 2台</p> <p>◎検査用消耗品</p>	<p>新型コロナウイルス感染症等の検査を早期に実施することで罹患者を早期に発見し療養につなげることから、感染拡大を防ぐことができた。また受診困難な住民に対し訪問診療を行うことにより安心して住み慣れた地域で暮らすことができた。</p>	保健福祉課	完了
20	抗原検査キット配布事業	<p>①新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行対策として、離島のため検査キットが入手しにくい環境であることから希望する村民に抗原検査キットを配布し自己検査を促進することで、健康管理対策支援と医療機関のひっ迫を防ぐことに繋がる。</p> <p>②抗原検査キット</p> <p>③1,400円×300個</p> <p>④村民</p>	569,404	569,404	抗原検査キット	<p>新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行対策として、離島のため検査キットが入手しにくい環境であることから希望する村民に抗原検査キットを配布し、自己検査を促進することで感染拡大及び医療機関のひっ迫を防ぐことができた。</p>	保健福祉課	完了
21	行政検査によるPCR等検査費用助成事業	<p>①行政検査によるPCR検査等新型コロナウイルス検査を実施した際に要する費用を助成し、経済負担を軽減する。</p> <p>②検査に要する費用</p> <p>③対象者35件×4,000円=140,000円</p> <p>④村内居住者</p>	155,700	155,700	検査費用助成 62件	<p>PCR検査等に係る初診料又は再診料、検体採取料及び院内トリアージ実施料を助成し、経済負担を軽減できた。</p>	保健福祉課	完了